

いつか花咲く日のために

平成24年5月25日
広島市立中島小学校
校長だより 第2号

子どもたちの心に種をまき、水を与え、光を与え、栄養を与え
あせらず、あわてず、あきらめず、花の咲く日を待たないと、
この題をつけました。

中島小学校の子どもたちは、
「日本の代表」。



上の言葉は、5月8日(火)、学校朝会の話の最後に伝えた言葉です。
まずは、学校朝会での話を披露しましょう。

中島小学校の校訓「気高く 直く たくましく」は、言い換えると「心の目標」
です。

『気高く』中島小学校の子どもであることを誇りに感じる子どもになって欲しい。

『直く』 ごめんなさい・ありがとうございますと心から言える子どもでいて欲しい。

『たくましく』 どんなことにも進んで取り組む心の強さをもつ子どもに育てて欲しい。」

心の目標という思いが込められています。

さて、5月18日(金)には、スウェーデンという国から19名の方々が、この中島小学校においでになります。日本の子どもたちはどのような学校生活を送っているかを見に来られるのです。

つまり、皆さんは、日本の子どもたちの代表として、スウェーデンの方々に日本の学校を紹介するわけです。

今日の話の最初に校訓について話しました。その中で「『気高く』中島小学校の子どもであることを誇りに感じる子どもになって欲しい」と言いました。学区に平和公園のある中島小学校の子どもとして、平和の大切さを伝える使命をもつヒロシマの子として、そしてどんな苦難にも負けない日本の子どもとして、胸を張って私たちの中島小学校を見ていただくことにしましょう。

本年度は「自尊感情・自己肯定感」をより一層育てていきたい、育つように努力していこうと「学校経営計画」を立てています。今回の経験がその一助になればと願っています。

なかじまっ子の感性から生まれる「なかじま 五七五」

スウェーデンの方々との交流のようすも五七五で紹介いたします。

まずは、新級した4月の作品から。

三年の 漢じはとても むずかしい	半情 七望
べんきょうを すらすらするよ がんばるぞ	猪原 梨菜
三年生 理科や社会を ならうんだ	實川 優絵
リコーダー やり方おぼえて たのしいな	木谷 萌香
ともだちが いっぱいふえて うれしいよ	船越 大希

「なかじまっ子」自慢が出てきましたよ。

なんにでも 元気にがんばる なかじまっ子	山田 光葵
なにしても 笑顔でがんばる なかじまっ子	河口 綿穂

夢をもてることが、とてもすてき。

ぼくのゆめ 大きくなって 神楽まう	平岡 昂
-------------------	------

いっしょに食べた給食時間。多くのことを見た・聞いた・知った・感じたね。

スウェーデン 中じましように きてくれた	大竹 瑞希
スウェーデン スウェーデンごが わからない	菅 夏樹
スウェーデン いってみたいな ふゆのくに	谷平ひなた
スウェーデン ほっかいどうより さむいのか	中村 希咲
スウェーデン にほんよりかは おおきいよ	藤山 翔大
スウェーデン いろんなところ おもしろい	澤井 美波
スウェーデン きいろのぼってん きれいだね	山縣 李代
スウェーデン はしのもちかた じょうずだな	廣田 彩乃
ステファンさん ようこそ二のーに きてくれた	西谷 碧
ステファンさん いつもえがおで おもしろい	川本 麻裕
ステファンさん えいごもしゃべれて すごいな	檜山 孝太
ステファンさん おはしをもつの じょうずだな	檀上桂太朗
スウェーデン ノーベル・ピッピの ゆめの国	後藤美智恵

よその国の方にも臆することなくのびのびと関わる子どもの姿です。

晴天下 中島魂 満ち溢れ	詠み人知らず
--------------	--------

国際人誕生。

タック・アデュ スウェーデン語を 口ずさむ	久松ひとみ
-----------------------	-------